

# 2022年度 公益社団法人 北海道社会福祉士会 十勝地区支部 事業報告

## 十勝地区支部 基本理念「つなぐ・ささえる・まもる・つくる・かえる」

### はじめに

ウクライナへのロシアの侵攻から1年が経過し、いまだ和平への道筋は見えていません。新たにスーダンでの紛争により、市民生活は困難な状況に置かれています。

国内では、3年にわたる新型コロナウイルスの全国的感染拡大とその影響により、私たちの暮らしは大きな影響を受けてきました。相次ぐ虐待の報道も、コロナ禍による人と人をつなぐ関係性の貧困と無縁ではありません。このような地域社会での関係の希薄化、生活課題の深刻化などに対し、社会福祉士には人々の生活課題と権利侵害に、ソーシャルワーク機能を発揮した実践がますます求められています。

十勝地区支部の活動ではウイズコロナにシフトした形態が定着してきました。対面での活動が制限される中、オンラインを活用した会議、研修会等の運営を行ってきました。一方で、オンラインを中心とした活動の中では、関係づくりの難しさなど新たな課題も見え始め、参集とオンラインのハイブリット開催もいくつかの研修会で行い、その成果も感じることができました。

このような社会状況だからこそ、十勝地区支部の基本理念でもある、つなぐ、ささえる、まもる、つくる、かえるを会員一人ひとりが改めて意識化し、会員相互のつながりを強め、地域の中で社会福祉士としての価値、知識、技術に基づいた実践が求められています。

### I 組織の現状

2023年3月末現在

	十勝地区支部	北海道社会福祉士会	日本社会福祉士会
会員数の動向	会員数177名 ※前年4月比1名増	1,766名 ※前年4月比2名減	44,855名 ※2023年1月末

今年度も、コロナウイルス感染症拡大の影響で、春先の時期に会員拡大に十分取り組めなかったこともあり、会員数は前年と大きな変化はなかった。会員に向けての情報発信とウイズコロナの中でのつながりの構築についてソーシャルワーク Café を開催してきたが、更なる広がりが求められる。

### II 組織・運営体制

オンラインを活用した会議、研修などの活動が支部でも定着し、距離、時間にとらわれずに参加できる利点も感じられた。一方で、対面で活動が行えないことにより会員拡大、組織運営、会員同士のつながりの構築等では影響を受けた。ウイズコロナを見通した活動として、一部研修会は対面とオンラインとのハイブリットで開催することができ、対面開催の効果も感じられた。

支部の運営については、事務負担の軽減と迅速化を図るため、会員への情報発信のメール活用を進め一定の把握ができたが、メールならではの課題も感じられた。また、情報発信の一つとして支部フェイスブックも再開し、ホームページとともに情報発信ツールとして活用してきた。

1. 副支部長+委員長体制による副支部長の負担軽減
2. 会員相互のつながりを構築するためのブロック活動への取組

## 1 四役および業務分掌

①支部長	石川 尚樹	事業骨格の立案・事業進捗状況の総括・地区支部の対外的な窓口・三役会議招集等
②副支部長	権利擁護委員会 渡辺 洋一郎 生涯研修委員会 山口 潤 広報育成委員会 小松 健児 ※R4.4～東村事務局長が代行	担当委員会の委員長。事業実施状況の把握と意思決定・各部会の連携調整・事業推進のための調整・提案(三役会議への報告・提案・担当委員会の予算執行状況の把握・調整)
③事務局	事務局長 東村 智之 ※事務局(当面救護施設東明寮)	道事務局との連絡調整・役員会の議案整理・地区支部役員と会員間の連絡調整・行政関連団体との連絡調整等
④会計	田巻 憲史	地区支部の事業推進にかかる出納管理、道会への報告、予算執行状況の把握 等

## 2 三役会議・役員会の役割

三役会	支部長・副支部長・事務局長 ※適宜、会計、道の委員会委員を招集	地区支部の運営に関する検討・担当委員会の状況把握と報告相談・各部会間の連携・基礎研修の運営・役員会の議案検討 等
役員会	三役・幹事・監事・道委員(地区支部推薦)・部会長	事業の進捗状況の共有・その他事業推進に関する意思決定

## 3 委員会・部会体制

委員会	部会	主たる任務および担当事業	メンバー
生涯研修委員会 (山口副支部長)	基礎研修部会 (中山部会長、久保晃幹事)	基礎研修Ⅰ～Ⅱの運営、基礎Ⅲ運営協力、生涯研修制度の周知等	倉橋健、廣瀬大輔、山川幸美各会員
	学習会・セミナー部会 (金石部会長、庄司幹事)	社会福祉セミナー・定例学習会の企画運営 等	寺本圭祐、堀田満生、山川幸美、大林将秀各会員
権利擁護委員会 (渡辺副支部長)	成年後見部会 (柴田部会長、國安幹事)	権利擁護セミナー、成年後見人フォローアップセミナー、成年後見制度の周知、道ぱあとなあ運営委員会との連携 等	河瀬貴、清野光彦、清野祥子、荒浩美、渡邊加代子、内山信美、宮崎洋子各会員
	司法連携部会 (山口芳部会長、椎名幹事)	司法連携に関すること、活動ニーズ調査、司法福祉に関する研修会 等	杉野全由、山本由美子、長村麻子、佐々木圭各会員
広報育成委員会 (小松副支部長 東村事務局長)	鳥瀬幹事	ニュース作成、HP 管理、PMC ラボ、道東のつどい等 受験生支援企画、会員ニーズ調査、その他会員や社会ニーズに基づく企画	

## 4 支部交流事業

当支部の会員数の増加とコロナ禍での対面の制約で、顔の見える関係づくりが課題となっている。会の活動の見える化と共に、一人ひとりのおかれている状況を共有しつつ相互のつながりを強め、地域での職場領域を超えた課題等に対応するべく、昨年試行したソーシャルワーク café を本年度本格実施した。

オンラインの活動により、移動、時間の負担がなく参加できるソーシャルワーク café を偶数月定例開催した。テーマにより参加者も入れ替わり、会員が持つ問題意識の共有などができ、良い機会となった。

### ソーシャルワーク cafe

4月21日(金)	新年度新しいつながりをつくりませんか	11名
6月27日(金)	移住会員の高知暮らし報告 育児休暇中のママさん報告	13名
8月2日(金)	あたらしいつながりをつくろう	13名
10月27日(金)	話そう！私がしたいこと	11名
12月22日(金)	あなたの理想とする社会福祉士	15名
2月27日(金)	今年度を振り返って～頑張ったこと、頑張りたいこと～	12名

## 5 成年後見人合議体の運営

地区支部窓口	支部長 石川 尚樹
運営委員	石川 尚樹支部長・河瀬 貴・荒 浩美ぱあとなあ運営委員・川向 優子権利擁護委員会委員長・内山 信美会員

## 6 北海道社会福祉士会への派遣委員

ぱあとなあ北海道運営委員会	荒 浩美会員
生涯研修委員会	山口 潤会員・中山晶子会員
地域包括支援センター支援委員会	菅原 浩樹会員
企画総務委員会	渡辺 洋一郎会員
生活困難者委員会	渡辺 洋一郎会員
災害対策委員会	山口 潤会員、石井 康弘会員
子ども未来部会	鹿川 靖子会員
司法分野との連携特別委員会	山口 芳伸会員
現場実習指導者研修委員会	東村 智之会員
障がい者等地域生活支援委員会	小野 祐介会員

## Ⅲ 地区支部全体会・意見交換会・三役会議・役員会

総会・会議名称	開催日	参加人数
地区支部全体会	5月21日(土)	31名

地区支部意見交換会	12月22日(木)	10名
第1回役員会	4月7日(水)	10名
第2回役員会	6月22日(水)	11名
第3回役員会	9月28日(木)	10名
第4回役員会	11月30日(水)	11名
第5回役員会	3月22日(水)	9名
三役会	6月9日(木)	5名
	9月13日(火)	4名
	11月16日(水)	4名
	3月16日(水)	4名

## IV 委員会等の活動報告

### 1 広報育成委員会

① 委員会の開催	随時 LINE 等で意見交換を実施
② にゅーすの発行	令和4年7月、令和5年1月
③ ホームページ運営	随時情報更新 *ホームページ作成・管理委託先:ワークフロア清柳
⑥福祉フェスティバル 2022 (相談コーナー担当)	新型コロナウイルス感染拡大のため開催なし
⑦10土業合同 くらしのよろず無料相談会	令和4年11月6日(日) 相談員6名

### 2. 権利擁護委員会

①司法連携部会	<p>①部会の開催 5月10日、8月25日、1月12日(研修実行委員会:10月5日、12月15日、2月20日)</p> <p>②司法と福祉の連携を深めるための研修会 釧路弁護士会との共催(参加40名うちオンライン19名) 2月25日(土)ハイブリッド開催 【講演1】「障害特性と犯罪について」 講師:長沼 陸雄 氏(十勝むつみのクリニック院長) 【講演2】「医療・福祉と連携した弁護活動」 講師:林 順敬氏(弁護士) 【講演3】「社会福祉士の実践と価値・理念(犯罪を犯してしまった障害のある方を支援して)」 講師:廣瀬 大輔氏(社会福祉士) ・フロア討論「再犯防止に向けてそれぞれが果たす役割」 コーディネーター:武部 雅充氏(弁護士)</p>
②成年後見部会	<p>①部会の開催 7月29日、11月12日、12月10日、1月24日</p>

	<p>②成年後見人フォローアップ研修  第1回 8/1(月) 参加17名 オンライン開催  ・報告者:清野 光彦(会員)「死後事務について～経験した事例から～」  ・受任状況報告、意見交換等  第2回 10/3(月) 参加8名 オンライン研修  ・報告者:渡邊 加代子(会員)、荒 浩美(会員)「利用支援事業について」  ・受任状況報告、意見交換等  第3回 1/16(月) 参加12名 オンライン開催  ・事例報告者: 清野 祥子(会員)、河瀬 貴(会員)「長期不在時の備え・対応に関して～復代理について～」  ・学習:清野 光彦(会員)「復代理制度の利用について」  ・受任状況報告、意見交換等  第4回 2/7(月) 参加23名(会場参加4名) ハイブリッド開催  ・報告者:内山 信美(会員)「記録の保存や確定申告について」  ・事例報告者:荒 浩美(十勝地区支部ぱあとなあ北海道運営委員)、郷 晃(会員)  ・受任状況報告、意見交換等</p> <p>③みまも～る事例検討会 ○回開催  杉野全由、宮崎美子、渡邊加代子、内山信美、郷 晃 各会員</p> <p>④成年後見調整合議体 9回開催 27人調整  荒浩美、河瀬貴、川向優子、内山信美、石川尚樹各会員</p> <p>⑤権利擁護セミナー (参加29名)  10/22「権利擁護セミナー」 ハイブリッド開催  「ハンセン病問題から人権を考える」映画上映会(とかちプラザ) トークセッション</p>
--	--

#### 4. 生涯研修委員会

<p>①基礎研修部会</p>	<p>ZOOM を活用し全道を対象に開催したため、十勝地区支部が担当地区支部となった基礎研修を記載  【基礎研修Ⅲ】  10月10日 サービス管理経営系科目  社会福祉の組織と組織マネジメントの意義、会議運営、福祉サービスにおける質の評価とサービスマネジメント、リスクマネジメントと苦情解決システム  講師 杉野全由会員  ファシリテーター 高畑訓子会員 國安令子会員 橋本節子会員  倉橋健会員 山口潤会員 國松直人会員  12月11日 サービス管理経営系科目  事例研究(苦情・リスク・サービス評価講師 杉野全由会員  ファシリテーター 國安令子会員 工藤敬会員 数田紗奈会員  廣瀬大輔会員 山川幸美会員 山口潤会員 國松直人会員</p>
----------------	--

②学習会セミナー部会	<p>【PMC ラボ】 10月2日 25名参加 「みんなで考えよう！私たちに出来ること～withコロナとafterコロナ～」</p> <p>【社会福祉セミナー】 11月6日 42名参加 「福祉現場から地域をともに創りあげる」講師馬場拓也氏</p> <p>【道東の集い】 12月4日 14名参加 「重層的支援(津別町の先進的取り組み)」</p> <p>【定期学習会】 5月21日 「社会福祉士が語るソーシャルワーク～それぞれの日々の活動から～」</p>
------------	---

### 3. 専門性を生かした地域・社会貢献

事業名称	開催日	事業内容	参加人数	出席者等
帯広市障害支援区分認定審査会	随時	審査員派遣	4名	久保 明、阿部 敏之 岡本 大輔、鹿内 輔
南十勝障害支援区分認定審査会	//	審査員派遣	1名	野々村 和章
帯広市介護認定審査会	//	審査員派遣	2名	岡本 大輔、泉 昌宏 10月～國安令子、泉 昌弘
社会福祉法人帯広市社会福祉協議会評議員	//	評議員派遣	1名	
帯広市認知症初期集中支援チーム検討委員会	//	委員派遣	1名	鳥瀬 一成
帯広市健康生活支援審議会	//	委員派遣	1名	藤森 誠
帯広市都市計画審議会委員	//	委員派遣	1名	紺谷 真佑
道東知的障害者施設協会 オンブズマン	//	オンブズマンとして 会員派遣	1名	寺本 圭佑
帯広市在宅医療・介護 ネットワーク会議	//	構成員派遣	1名	田巻 憲史
陸別町成年後見実施機関運営協議会 りくべつ生活安心センター受任等調整会議	//	委員派遣	2名	河瀬 貴 宮澤 英雄
福祉フェスティバル 2022	中止	新型コロナウイルス 感染拡大のため 開催中止		

<p>10 士業合同+帯広市建築開発課 くらしのよろず相談会</p>		<p>弁護士・司法書士・行政書士・税理士・社会保険労務士・ファイナンシャルプランナー・建築士・宅地建物取引士・土地家屋調査士・社会福祉士・帯広市職員による合同無料相談会への会員派遣</p>	<p>6名</p>	<p>実行委員 東村智之 相談員 東村智之、佐藤勇宏 椎名 成、山口芳伸 宮本拓也、廣瀬大輔</p>
<p>芽室町権利擁護事業専門部会</p>	<p>随時</p>	<p>委員派遣</p>	<p>1名</p>	<p>村瀬 征志</p>
<p>帯広市成年後見支援センター事例検討会</p>	<p>随時</p>	<p>委員派遣</p>	<p>5名</p>	<p>郷 晃、渡邊 加代子 杉野 全由、内山 信美 宮崎 洋子</p>